



四万十源流

[町議会だより] **Town Council Newsletter**



令和七年

祝 二十歳おめでとう



令和7年 二十歳を祝う集い

● 10月臨時会・12月定例会 議案審議の概要

● **行政報告** 梶原町議会 市川岩亀議員 高知県功労者表彰受賞

● **一般質問** これまでの課題を評価し次年度に繋げよ

● **一般質問** ワイン事業は民間に移譲するべきである

● **委員会報告** 二常任委員会を一常任委員会に改める

西川 慶男 議員

下元 秀俊 議員

西川 慶男 委員長



初春を迎え

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年も皆様にとって

輝かしい年になりますよう

ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和七年元旦

議会議長 土釜 清



土釜 清 議長

議長 土釜 清
副議長 下元 秀俊

議会運営委員会(6人)

委員長 西川 慶男
副委員長 森田 呂弥
委員 藤原 伸
委員 来米 豊史
委員 西川 豊正
委員 市川 岩龟
委員 市川 岩龟
オブザーバー 土釜 清
オブザーバー 下元 秀俊

総務教育厚生常任委員会(5人)

委員長 森田 呂弥
副委員長 来米 豊史
委員 藤原 伸
委員 下元 秀俊
委員 西川 慶男

産業建設常任委員会(5人)

委員長 西川 豊正
副委員長 市川 岩龟
委員 藤原 伸
委員 来米 豊史
委員 土釜 清

議会広報編集委員会(7人)

委員長 来米 豊史
副委員長 西川 豊正
委員 藤原 伸
委員 森田 呂弥
委員 下元 秀俊
委員 市川 岩龟
委員 市川 岩龟
委員 西川 慶男

事務局

局長 市大 美奈
書記 氏原 香理



下元 秀俊 副議長



西川 慶男 議員



森田 呂弥 議員



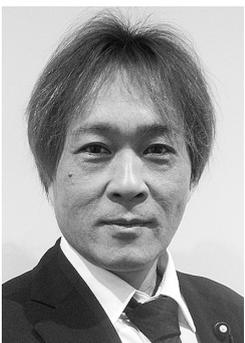
西川 豊正 議員



来米 豊史 議員



市川 岩龟 議員



藤原 伸 議員

10月臨時会

議案審議の概要

提案され審議した主な議案についての概要(※質疑は抜粋)

専決処分の承認

一般会計補正予算(第5号)

〈主な補正内容〉

●内容

衆議院解散に伴う総選挙及び最高裁判所裁判官
国民審査に要する経費等について専決にて予算の
補正を行ったもの。

総額8億7千万1千円を増額し総額を9億9千4
34万3千円とするもの。

承認

全員賛成

※議案一覧と議員賛否状況を参照。

条例

国民健康保険栲原歯科診療所設置及び
管理に関する条例の一部改正について

歯科診療所の名称及び位置について、新たな歯

科診療所の開所に合わせて、その位置を改正する
もの。

可決

全員賛成

栲原町立国民健康保険栲原病院医師
住宅等の設置及び管理に関する条例
の一部改正について

歯科診療所と併設している歯科医師の医師住宅
の位置について、議案第69号同様に改正するもの。

可決

全員賛成

その他

工事請負契約について

(令和6年度地域脱炭素移行・再エネ推進交付金
事業 栲原町地域マイクログリッド構築工事)

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は
処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の
議決を求めるもの。

可決

賛成多数

私はこの理由で反対です!

西川 慶男

脱炭素事業について、今日まで執行部より説
明を受け検討を行ってきた。その中で、今後の
財政状況に不安があること等、様々な課題解決
がされていないと感じており、補正予算も反対
をした。従って今回提案された脱炭素事業関連
の議案は全て反対する。

工事請負契約について

(令和6年度地域脱炭素移行・再エネ推進交付金事業
栲原町木質バイオマス発電所(熱電併給)建設工事)

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は
処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の
議決を求めるもの。

可決

賛成多数

工事請負契約について

(令和6年度町単栲原町脱炭素先行地域事業
栲原町木質ペレット製造施設敷地造成工事)

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は
処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の
議決を求めるもの。

可決

賛成多数

工事請負契約について

(令和6年度地域脱炭素移行・再エネ推進交付金事業
栲原町木質ペレット製造施設増設工事)

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は
処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の
議決を求めるもの。

可決

賛成多数

Q

乾燥設備等建屋での火災に対する対策は設計段階でできているのか。

A

森林づくり脱炭素推進課長
建屋側で防火対策がされた設計となっている。

藤原 伸

備品購入契約について

(木質ペレットエア搬送車(3t))1台

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可決

賛成多数

備品購入契約について

(搭載型トラッククレーン車(4t))1台

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可決

賛成多数

備品購入契約について

(庁内事務用デスクトップ型パソコン(LGWA系))25台

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可決

全員賛成

Q

1台43万円程のパソコン25台の更新を随意契約でということだが、理由と今後の更新についてどうなるのか。

A

総務課長

随意契約の理由は、LGWAN系(地方公共団体と国の各府庁がつながる行政専用のネットワーク)のネットワーク及びセキュリティシステムを構築していることと、さらにその後のメンテナンスも含めて、ネットワークの接続管理、保守を一貫して依頼可能なため、随意契約を行っている。
ネットワークの構築、セキュリティシステムを一気に全部を変えようとすると、その費用を賄うことが困難なため、計画的に更新を行っている。

下元 秀俊



議案一覧と議員賛否状況

私は ○ × です



10月 臨時会(第376回)

(賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			藤原伸	來米豊史	森田呂弥	西川豊正	下元秀俊	土釜清	市川岩亀	西川慶男
第68号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度高知県高岡郡梶原町一般会計補正予算(第5号)) 総額を90億9434万3千円とするもの	承認	○	○	○	○	○	○	○	○
第69号	国民健康保険梶原歯科診療所設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
第70号	梶原町立国民健康保険梶原病院医師住宅等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号	工事請負契約について (令和6年度 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金事業 梶原町地域マイクログリッド構築工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	×
第72号	工事請負契約について (令和6年度 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金事業 梶原町地域木質バイオマス発電所(熱電併給)建設工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	×
第73号	工事請負契約について (令和6年度 町単 梶原町脱炭素先行地域事業 梶原町木質ペレット製造施設敷地造成工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	×
第74号	工事請負契約について (令和6年度 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金事業 梶原町木質ペレット製造施設増設工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	×
第75号	備品購入契約について(木質ペレットエア搬送車(3t))1台	可決	○	○	○	○	○	○	○	×
第76号	備品購入契約について(搭載型トラッククレーン車(4t))1台	可決	○	○	○	○	○	○	○	×
第77号	備品購入契約について(庁内事務用デスクトップ型パソコン(LGWA系))25台	可決	○	○	○	○	○	○	○	○

行政報告



行政報告を行う吉田町長

町長は、令和6年9月定例会以降における諸般の行政について、次の項目の報告をした。(抜粋)

叙勲関係

- 松山幸敏氏(元自衛隊3等陸尉)
瑞宝単光章(危険業務従事者叙勲) 受章
- 川上源伸氏(元榑原消防団第五分団副分団長)
瑞宝単光章(消防功労叙勲) 受章

表彰関係

- 矢野豪佑氏
(鷹取キムチの里づくり実行委員会代表)
高知県功労者表彰受賞
- 市川岩亀氏(榑原町議会議員)
高知県功労者表彰受賞

榑原町議会 市川議員が受賞



市川岩亀議員は令和6年11月3日(日)文化の日に高知会館にて濱田知事より、多年町議会議員として地域の産業振興、公共の福祉の増進等地方自治の発展に寄与した功績により受賞、表彰状が授与された。

- 川上義範氏(茅葺き職人)
卓越した技能者(現代の名工)表彰受賞
- 下村勇成氏(株式会社南国ミロク顧問)
土佐の匠(金属加工分野)認定

総務課関係

- 物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金事業について
- 選挙管理委員会委員選任について
- 第50回衆議院議員総選挙及び第26回最高裁判所裁判官国民審査について
- ゆすはら千百十一年記念行事について

まちづくり産業推進課関係

- 空き家活用促進事業について
- 移住者の状況について
- 集落活動センターについて
- スローライフ・フォーラムinゆすはらについて
- 企業版ふるさと納税について

保健福祉課関係

- 地域における集いの場への訪問について
- 予防接種について

環境整備課関係

- 榑原町上下水道料金改定検討委員会
の開催について
- ごみ処理・し尿処理等の協力に関する協定について
- 災害査定について

生涯学習課関係

- 榑原町子ども未来議会について

榑原病院関係

- 自治医科大学首長訪問事業について
- 榑原歯科診療所の再開について

表紙写真の紹介

令和7年 二十歳を祝う集い

今年の出席者は20人で、華やかで賑やかな集いとなった。



12月
定例会

議案審議の概要

提案され審議した主な議案についての概要（※質疑は抜粋）

補正予算

一般会計補正予算（第6号）

＜主な補正内容＞

● 共通内容

人事院勧告に基づく町職員給与改正による職員の給料月額の上上げと期末及び勤勉手当支給率の改定並びに、職員の異動等に伴う各費目間会計間での人件費の調整。

● 総務費

▲8百94万2千円

電気料金の割引サービスの終了及び実績に伴う見直し等他

● 民生費

8百51万6千円

人件費の調整等による国保会計繰出金他

● 衛生費

▲2百5万6千円

人件費の調整等による四万川診療所会計への繰出金他

● 農林水産業費

1千7百80万円

申請件数追加による農業基盤整備等事業補助金他

● 土木費

3百35万5千円

マンホールポンプ等修繕料及び人件費の調整による下水道事業会計繰出金 他対策事業の件数追加に伴う工事請負費の増額他

● 教育費

5百59万円

電気料金の割引サービスの終了及び実績に伴う見直しにより生涯学習交流センター光熱水費他

● 公債費

3百28万9千円

利率の確定による長期債利子の増額他

2千9百26万円を増額し総額を91億2千3百60万3千円とするもの。

可決

全員賛成

Q

下元 秀俊

給与改定について問う。町が外部に委託している事業についても人件費の上昇、物価高騰の状況である。委託先との協議は。

A

総務課長

そういった事情を含めて協議検討は重ねていく。内容を含めて協議の中で検討していく。

A

生涯学習課長

給食事業は協議している。3月に実績見込みを精査して検討するようにする。

条例

榛原町コミュニティバスの運行及び管理に関する条例の一部改正について

今年一月から実証運行していたデマンドはつせ線及びデマンドまつばら線について、令和7年1月からの本格運行開始に伴い使用料を新たに追加するもの。

可決

全員賛成

榛原町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例の一部改正について

可決

賛成多数

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

可決

全員賛成

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

可決

全員賛成

人事院勧告等に基づく特別職、一般職及び会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正を行うもので、給与月額及び扶養手当並びに期末手当、勤勉手当の改定を行うもの。

※松原診療所特別会計補正予算（第1号）から給与集中管理特別会計補正予算（第1号）までの説明は省略する。議案一覧と議員質否状況を参照。

その他

工事請負契約について

(令和6年度 防災・安全社会資本整備交付金事業
第1-A76-027号 町道初瀬東西線 初瀬東西
トンネル トンネル照明LED化更新工事)

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可 決

全員賛成

指定管理者の指定について

「国民健康保険梶原歯科診療所」について梶原町の公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例に基づき指定管理者の候補者を選定したので、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

可 決

全員賛成

津野山養護老人ホーム組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について

津野山養護老人ホーム組合で共同処理する事務の一部を変更し、同組合規約を変更することについて、地方自治法第290条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可 決

全員賛成

議会条例

梶原町議会委員会条例の一部改正について

梶原町議会常任委員会を二常任委員会を改め、一常任委員会とする条例の改正について議会の議決を求めるもの。

提出者 議会運営委員会 委員長 西川慶男

【提案理由(趣旨弁明)】

我が国は今、人口減少という大きな課題に直面しているが、本町においても人口減少と少子化、高齢化が急速に進展している状況である。このことは生産年齢人口の減少や地域の過疎化、人材不足など多くの課題があらゆる分野で表面化してきており、本町が将来にわたって持続していく可能性が心配されるところである。この危機的な社会の変化にしっかりと対応していくことが求められる。

当議会では、二つの常任委員会を設置して各分野に専門性を持たせて調査活動を行ってきたが、各所管の分野はそれぞれに密接に関連していることから、全議員がそれぞれの視座と知見を集め、調査、審議を深め、課題解決に努めていくことが住民の代表としての議会の役割を果たしていくことになる。

これらの理由により、二常任委員会を改め、一常任委員会とする梶原町議会委員会条例の一部を改正する条例を提出する。

【変更内容】

現 総務教育厚生常任委員会・産業建設常任委員会
新 まちづくり常任委員会

令和7年5月1日より改正

可 決

全員賛成

専決処分

専決処分の報告について(工事請負契約変更)

地方自治法第180条第1項の規定により令和5年度へき地医療施設整備事業 国民健康保険梶原歯科診療所建築工事の工事請負契約変更について、令和6年10月23日付で専決処分したので、同条第2項の規定に基づき報告するもの。



11月から新たに開所した梶原歯科診療所

議案一覧と議員賛否状況

私は ○ × です



12月 定例会(第377回)

(賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			藤原伸	來米豊史	森田呂弥	西川豊正	下元秀俊	土釜清	市川岩亀	西川慶男
第78号	令和6年度高知県高岡郡梶原町一般会計補正予算(第6号) 総額を91億2千360万3千円とするもの	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第79号	令和6年度高知県高岡郡梶原町立松原診療所特別会計補正予算(第1号) 総額を2千138万2千円とするもの	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第80号	令和6年度高知県高岡郡梶原町立四万川診療所特別会計補正予算(第1号) 総額を1千128万円とするもの	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第81号	令和6年度高知県高岡郡梶原町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 総額を5億6千481万円とするもの	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第82号	令和6年度高知県高岡郡梶原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 総額を5億5千606万2千円とするもの	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第83号	令和6年度高知県高岡郡梶原町簡易水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収入及び支出の総額を1億1千537万7千円とするもの	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第84号	令和6年度高知県高岡郡梶原町下水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収入及び支出の総額を1億1千928万円とするもの	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第85号	令和6年度高知県高岡郡梶原町電気事業会計補正予算(第2号) 収益的収入及び支出の総額をそれぞれ2億3千559万6千円、1億4千444万8千円とするもの	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第86号	令和6年度高知県高岡郡梶原町病院事業会計補正予算(第2号) 収益的収入及び支出の総額をそれぞれ5億3千339万8千円、6億2千495万8千円とするもの 他	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第87号	令和6年度高知県高岡郡梶原町給与集中管理特別会計補正予算(第1号) 総額を11億257万4千円とするもの	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第88号	梶原町コミュニティバスの運行及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第89号	梶原町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	—	○	○
第90号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第91号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第92号	工事請負契約について (令和6年度 防災・安全社会資本整備交付金事業 第1-A76-027号 町道初瀬東西線 初瀬東西トンネル トンネル照明LED化更新工事)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第93号	指定管理者の指定について(国民健康保険梶原歯科診療所)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
第94号	津野山養護老人ホーム組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	—	○	○
発委第2号	梶原町議会委員会条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	—	○	○

一般質問

西川 慶男 議員

これまでの課題を評価し 次年度に繋げよ



町長

今後1年間しっかり
取り組んでいく

Q 残りの任期が約1年となる中、次年度に向けてどのように取り組んでいくのか問う。

A

町長

「対話と協働」を掲げ住民の皆さんが何をどう感じているのかを広く聞き、梶原町総合振興計画の実現に向けて進めていく。また、住民の皆さんと共に取り組んでいただける気持ちを醸成することも大切である。残り1年の任期中に改めて皆さんの声を聞いていく。

Q 今後益々厳しい財政運営が予想される。歳出削減を徹底し、新たな財源の確保にも努めしっかり取り組む必要があるのでは。

A

町長

事業の見直し、歳出削減を検討しなければならぬ。本町の財政運営では約60億円を用途に予算編成していく必要がある、歳入は地方

交付税や補助金の確保にしっかり取り組んでいく。

新たな財源の確保は、各課を挙げ専門家も交え取り組む。町の特産品開発及び磨き上げ等も行っており、ふるさと納税の返礼品等魅力あるものになっていくことを目指す。

Q 脱炭素先行地域事業や太郎川再整備計画での地方債、基金の活用状況など総合的な見解を問う。

A

町長

脱炭素先行地域事業は、平成11年から約四半世紀にわたり取り組んできたもので、梶原としての本質的な姿や、梶原の価値を高めるものであることから、脱炭素事業を優先して取り組むことを決断した。そのうえで魅力を感じる方々やそのことに関心を持たれる方々、自然や生物多様性等様々なことに関心を持たれる方々が観光客として来ていただき、

梶原町の東の玄関口となる太郎川公園を整備していきたい。財政的なことやスケジュールなど議員や町民の皆さんにしっかり説明をしながら進めていきたい。太郎川については当初、令和9年度開業を目指していたが、2年は伸びるものと想定しており、現在担当課とも協議を重ね計画を練り直しているところである。

大きな事業としては、現在進めている脱炭素先行地域事業と今後予定している太郎川整備計画であり、この2つの事業が完了すると、その先は大規模な事業はあまりないと見込んでいく。大型事業が終われば、地方債の償還はピークを過ぎ償還額も減少の一途をたどり、安定的な行財政運営ができ、新たな財源確保にしっかり取り組んでいく。

Q これからの行政運営は住民と共に進

A

町長

めていく必要がある。住民の皆さんの知恵と力を区へ結集させ、行政も地域の話に耳を傾け対話と協働によって元気で幸せなまちを構築していかなければならぬ。



今年度議会では各区で住民との懇談会を行った

一般質問

ワイン事業は民間に移譲すべきである



下元 秀俊 議員

町長 見直しをする

○ワイン事業は令和元年に試験栽培が始まり、5年が経過している。これまで栽培管理、経営数値など種々のデータも蓄積してきていると考える。客観的に検証して今後の方針を判断する時期である。

Q 事業経営実績は。

A まちづくり産業推進課長

令和元年から3年まではブドウ生産なく収入なし。4年度から観光協会に委託し地域おこし協力隊を採用して栽培にあたった。

ブドウ生産販売実績は、

R4年度3,056kg、

R5年度2,374kg、

R6年度3,430kg、

R5年度はブドウ販売136万円（前年のブドウ販売含む）

ワイン売上75万円、支出はワインの仕入れ74万円、人件費296万円含め431万円で98万円の赤字となっているが、町からの委託料を除くと約200万円の損失となっている。

Q ワイン事業と町内他品目との比較は。

A まちづくり産業推進課長

反収1,500kg、金額は39万円で、他品目に比べて低い。ブドウの買取価格が250円/kgであることから収量を2倍に

まで引き上げられるように品質向上と収穫量に取り組み、買取価格を先方と交渉したい。

Q 事業を見直し民間事業者を公募すべき。観光協会にはワイン事業の経営計画もなく、経営責任者もない。また地域特産品として地域ブランドを育てたいという思いはあるが、ゆすはらワインの「商標権」がない。仕入れ単価が2,000円以上と高く、採算が取れない。そして、他の商品との抱き合わせで採算をとるといふことであるが、事業単体で黒字化すべきものである。こういった点から観光協会が運営することは問題がある。次年度予算策定までに事業を見直し、事業移譲するなど方向付けをするべきである。

A まちづくり産業推進課長

井上ワイナリーとの契約内容、事業について協議していく。また、この地域での人材を求めることなど様々な面から検討を進める。



梶原産ワイン

○イベント事業について

高原祭り、脱藩マラソン、土佐牛丸かじり大会、グルメ祭りなど8月から11月まで大きなイベントを連続して開催してきたが、実質行政主体となっている。そして役場、商工会職員など休日出勤や準備等で業務に支障が出ている。また、事業検証も十分にできておらず、企画もマンネリ化してきている。

Q 負担軽減のためにもイベントを分散して開催するべきである。

A まちづくり産業推進課長

職員の負担軽減に努めてきたが、準備作業を含めるとかなりの人的負担がかかっている。見直す必要があると考えている。

Q イベントを5月から6月に分散し、民間事業者へ委託することを検討をすべきではないか。

A まちづくり産業推進課長

行政主導ではなく観光協会が具体的に戦略をもって旗振り役となり地域住民が主体的に取り組んでいくことが理想であると考えている。

A 町長

グルメ祭り、土佐牛丸かじり大会については今一度開催目的、

時期、費用対効果、人的負担を見直すことにした。

○本町のデジタル化について

Q 町からの情報発信は現在町内へは部落回覧と町内放送によって行っている。業務の効率化、コスト削減も考慮し、また、若い層への情報提供を考えるとSNSの活用は有効な手段である。今、多くの自治体で公式LINEの活用が広がっている。公式LINEはいつでもどこでも簡単に見ることができ、利便性に優れている。また、町外に向けては梶原町のファンづくりや観光にも大いに役立つと考えるが、取り組みを提案す

A 総務課長

自治体公式LINEは有効であると思う。先行事例も参考にしていきたい。現在町では、ホームページをスマホで操作しやすいように更新しようとしている。あらゆる町の情報を一つにまとめた自治体公式アプリに発展できるように交付金の活用を考えていく。



委員会報告

議会運営委員会 委員長 西川 慶男

二常任委員会を 一常任委員会に改める



調査日程等

令和6年12月10日
庁内にて、付託事項の審査
及びとりまとめ

調査の目的 及び結果

我が国は今、人口減少と
いう大きな課題に直面して
いるが、本町においても人
口減少と少子化、高齢化が
急速に進展している状況で
ある。このことは生産年齢
人口の減少や地域の過疎
化、人材不足など多くの課
題があらゆる分野で表面化
してきており、本町が将来
にわたって持続していく可
能性が心配されるところで
ある。この危機的な社会の
変化にしっかりと対応して
いくことが求められる。

当議会では、二つの常任
委員会を設置して各分野に
専門性を持たせて調査活動
を行ってきたが、各所管の
分野はそれぞれに密接に関
連していることから、全議
員がそれぞれの視座と知見

を集め、調査、審議を深め、
課題解決に努めていくこと
が住民の代表として議会の
役割を果たしていくことに
なる。
これらの理由により、二
常任委員会を改め一常任委
員会とするよう結論に達し
たので、報告するものであ
る。

構成委員

副委員長	森田 呂弥
委員	藤原 伸
委員	來米 豊史
委員	西川 豊正
委員	市川 岩亀
委員	土釜 清
オブザーバー	下元 秀俊
オブザーバー	



総務教育厚生常任委員会と産業建設常
任委員会においては、令和6年9月13日
第375回9月定例会において、閉会中
の調査付託を受けまちづくりに関する調
査を予定していたが、現在の町内の様々
な分野において、人口減少問題、少子高
齢化、人材不足等の課題が主に挙げられ
ており、まずは町内の現状を把握する必
要があると判断し優先したため、本件に
関する調査に至っていない。今後改めて
調査を行い報告する。

構成 委員

総務教育厚生常任委員会

委員長	森田 呂弥
副委員長	來米 豊史
委員	藤原 伸
委員	下元 秀俊
委員	西川 慶男

産業建設常任委員会

委員長	西川 豊正
副委員長	市川 岩亀
委員	藤原 伸
委員	來米 豊史
委員	土釜 清

令和6年度議長杯争奪ゲートボール大会が開催されました

12月8日(日)和田城横ゲートボール場において、令和6年度議長杯争奪ゲートボール大会が、雪がちらつく寒空のもと町内6チーム27人の皆さんの参加により開催されました。

結果は次のとおり。

- 優勝 四万川チーム
- 準優勝 川西路チーム
- 第三位 上松チーム



❖ 閉会中の所管事務調査事項 ❖

各委員会は、3月定例会までの閉会中に、次の事項を調査します。

- 議会運営委員会
→ 3月定例会の運営について
- 議会広報編集委員会
→ 議会広報の発行について

あとがき

昨年も色々な事がありました。日本では石川県能登半島地震から始まった一年でした。

世界ではロシア、アメリカの大統領選挙など、日本では東京都知事選や衆議院選挙など世界的にも選挙が多かった年のように感じます。

そして日本の政局も少し変わっていきそうな予感もあります。

またロシアのウクライナ侵略、イスラエル・パレスチナ戦争、シリアのアサド独裁政権の崩壊など、世界は激動しています。

梶原でも昨年は脱炭素事業の開始、太郎川再開発におけるホテル建設予定もあり、大きな事業が続きますが、進む方向を間違えずに明るい未来を次の世代に引き継いでいけるようしなければと痛感しています。

「このまままでいいこと、このまままではいかんこと」をみんなと考えて、梶原をよりよい町にするように尽力して行きたいと思えます。

皆様にとっても今年が光り輝く一年となりますように。

来米 豊史 記

